

第19回宇宙開発委員会(定例会議)

議 事 次 第

1. 日 時 昭和59年7月18日(水)
午後2時～2時30分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 宇宙開発委員会放送衛星対策特別委員会技術小委員会の
構成員の追加について
4. 資 料
委19-1 第18回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)
委19-2 宇宙開発委員会放送衛星対策特別委員会技術小委員会の
構成員の追加について

委19-1

第18回宇宙開発委員会(定例会議)

議事要旨(案)

1. 日時 昭和59年7月11日(水) 午後2時~3時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 H-IIロケットのコンフィギュレーションについて
4. 資料

委18-1第17回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)

委18-2 H-IIロケットのコンフィギュレーションについて(報告)

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

岩 動 道 行

“ 委員長代理

吉 識 雅 夫

“ 委員

斎 藤 成 文

“ “

井 上 啓 次 郎

“ “

大 塚 茂

説明者

宇宙開発委員会第二部会長

宮 憲 一

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

福 島 公 夫

文部省学術国際局審議官

植 木 浩

(代理:柴崎)

通商産業省機械情報産業局次長

棚 橋 祐 治

(代理:佐藤)

運輸省大臣官房審議官

大 塚 秀 夫

(代理:大松)

“ 海上保安庁総務部長

廣 瀬 好 宏

(代理:谷)

郵政省通信政策局次長

森 本 哲 夫

(代理:田中)

宇宙開発事業団計画管理部次長

寺 嶋 将 起

“ “ 計画第1課

広 池 利 夫

“ “ 計画第2課

只 川 嗣 朗

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

清 水 眞 金

科学技術庁研究調整局宇宙開発課

有 本 建 男

他

6. 議 事

(1) H-IIロケットのコンフィギュレーションについて

宮 憲一第二部会長より、資料委18-2に基づき説明が行われ、岩動道行委員長及び吉識雅夫委員長代理より、以下の発言が行われたのち、第二部会報告書が了承された。

岩動: H-IIロケットは、大型のプロジェクトであるので、国民の期待に応えるものとする。また、今後の具体的な開発に当たっては詳細な検討を十分に行い、これを的確に進めていく必要がある。

吉識：H-II ロケットの開発は、重要なプロジェクトであり、本当の意味での国産であるので、今世紀末までの実用に耐えうるものとしたい。新しい開発要素が多いと、リスクが出てくるので、このコンフィギュレーションで妥当だと思われる。

岩動：この大型プロジェクトに合わせて、大型の衛星の開発についても、十分に検討を行い、自主開発路線を堅持していきたい。

(2) 前回議事要旨の確認

第17回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨案(資料委18-1)が確認された。

委19-2

宇宙開発委員会放送衛星対策特別委員会技術小委員会の
構成員の追加について

宇宙開発委員会放送衛星対策特別委員会技術小委員会の構成員に、
柴田 幸男氏及び大島 耕一氏を追加することとする。

(参考)

柴田 幸男氏

大正14年1月10日生

昭和26年3月 東北大学工学部通信工学科卒

現職 東北大学工学部教授

専門分野 真空電子工学

大島 耕一氏

昭和2年10月12日生

昭和25年3月 東京大学第二工学部物理工学科卒

現職 文部省宇宙科学研究所教授

専門分野 宇宙環境工学

昭和55年4月より宇宙開発委員会専門委員(第四部会所属)